

繊維機械研究会

世界最高のサービス（顧客の立場にたったものづくり精神）に加え、世界トップレベルの材料技術、加工技術、メカトロ技術の利点を生かし、世界トップレベルの繊維機械を提供してきた我国繊維機械業界ですが、開発コストを重視しない近隣諸国の追い上げなどにより先行きが不透明となりつつあります。国内の繊維機械メーカを見ても、20世紀後半の「複数のコンピティターが鎬を削って」いた状態から統合が進み、残された champion 企業が世界との競争を繰り広げる一方、国内での切磋琢磨が難しい状況になってきています。これらの状況に対応するため、機械の動向に留まらず、新しい加工対象、糸作り技術、自動化技術を含めた広範囲な技術に関する情報交換の場を提供し、「10年後も世界トップレベルの繊維機械を提供できる」技術開発を模索します。

日本の繊維機械の強みは独り繊維機械メーカのみでなく、世界トップレベルの材料メーカ、部品メーカ、アクセサリメーカ……そして世界一厳しいユーザによって支えられています。これら多くの方々と「10年後の世界トップレベルの繊維機械」を模索していきたいと考えます。

【活動】

活動は4月から翌年3月までを1年度とし、1年度に研究例会を4回（7月、9月、11月、2月開催を目途とする：関西3回、東海／北陸1回目途）開催する。必要に応じて調査・研究*・出版を行うことがある。

*：プロジェクト研究

複数のスポンサー会員／企業会員からの要望により、大学・公設試等に所属する個人会員が特定テーマの「調査・研究」を行う。経費は要望したスポンサー会員／企業会員が負担し、調査・研究の成果は一定期間、経費負担したスポンサー会員／企業会員のみへの報告とする。過去の開催行事が学会 HP（以下サイト）にて閲覧できます。

http://tmsj.or.jp/res_brn-katudou.php?CAT_GROUP=6

【メンバー構成・運営分担金】

研究会メンバーは日本繊維機械学会の「会員」を対象とします。

スポンサー会員：日本繊維機械学会の維持会員、賛助会員等の企業を対象とし、登録メンバー1名の他、研究例会へ同一企業等から複数メンバーの参加を可能とする。
（運営分担金5万円／年度、税別）

企業会員：企業等に所属する日本繊維機械学会の正会員等を対象とし、例会への参加は登録メンバー1名とする。登録メンバーに不都合あるときは予め連絡の上、同一企業等からの代理メンバー1名が研究例会に出席することができる。
（運営分担金2万円／年度、税別）

個人会員：大学、公設試等に所属する日本繊維機械学会の正会員を対象とし、例会への参加は登録メンバー1名とする。代理メンバーが例会に出席することはできない。本研究会の世話をさせていただくことを原則とします。
（運営分担金5千円／年度、税別）。

【申込方法】学会 HP より入会申込書をダウンロードしてください。

【設立発起人】

喜成年泰（金沢大）、新谷隆二（石川県工試）、武内俊次（元福原精機製作所）、
田上秀一（福井大）、橋本欣三（TMT マシナリー）、八田 潔（石川高専）、
細川勝由（豊田自動織機）、山田茂生（津田駒工業）、若松栄史（大阪大）[50音順敬称略]

繊維機械研究会 入会申込書

フリガナ

氏名： _____

所属： _____

部課名： _____

連絡先： 〒 _____

電話： _____

FAX： _____

E-mail： _____

種別（○印）： _____ スポンサー会員 企業会員 個人会員

連絡事項